

普及活動情勢報告（令和元年12月分）

中央西農業振興センター高吾農業改良普及所

集落営農組織が視察調査に行きました



組織の状況聞き取りと機械倉庫見学

12月3日、佐川町「（農）トピアとかの」6名と関係機関で四十町の集落営農組織「（農）藤ノ川ファーマーズ」の視察調査を行いました。「（農）トピアとかの」は今年9月に法人として設立したばかりの組織です。

組織の設立経過や現在の計画的に実施されている活動を開き、飼料米栽培や機械類のメンテナンス、担い手確保の方法について質問が出ました。参加者からは地図の確認によるほ場管理や作業の段取り等を参考にしていきたいとの声が聞かれました。

普及所としては今後も集落営農組織の活動を支援していきます。

佐川支所茶生産部会全員の開催



説明を聞く生産者

12月9日、JA高知県佐川支所茶生産部会の全員会が開催され、生産者8名が参加しました。

農業改良普及所からは、防霜ファン導入に活用できる補助事業について説明しました。

生産者からは、「メンテナンス料はリース会社が払ってくれるのか」、「省エネ効果がある防霜ファンのランニングコストはいくらか」等の質問がありました。

今後も、農業改良普及所では茶の生産振興のために情報提供を実施していきます。

女性生産者と新規就農者がニラについて学びました



ニラに見入る生産者

12月13日、ニラの女性生産者と新規就農者を対象とした、勉強会を行い、10名の出席者がありました。

炭酸ガスを施用しているほ場での現地視察では、生育旺盛なニラの様子に驚きの声があがりました。視察のあとは、室内でニラの光合成についての講習を行いました。光合成の仕組みやニラの生理について基本に立ち返って学び、女性生産者からは「今までニラを作ってきたが、基本的な生理生態について初めて学んだ。勉強になった。」といった感想がありました。

普及所は今後も、栽培技術、経営管理などの様々な面から女性生産者や新規就農者等の支援を行っていきます。

新規就農者のレベルアップへ～ショウガの病害虫対策研修会～



病害虫を画像でしっかり確認

12月6日、ショウガの新規就農者等を対象とした病害虫対策研修会を開催し、生産者7名が参加しました。近年、ショウガの新規就農者が増加しており、病害虫に関する学習機会が少ないことから実施したものです。研修会では、普及所からショウガで発生する病害虫被害の見分け方や根茎腐敗病・青枯病対策について画像による説明を行いました。

参加者からは、害虫の発生サイクルや農薬の散布方法などの質問があり、今後もこのような研修会を開催して欲しいという要望が聞かれ、普及所では来年度も開催を予定しています。

消費税の軽減税率制度に対応した帳簿処理の研修会を開催



簿記記帳のデモンストレーション

12月3日、消費税の軽減税率制度実施に伴う帳簿処理の研修会を開催し、生産者33名が参加しました。10月からの制度実施に伴い、実際の簿記記帳方法がわからないという農家の声に答え、佐川町担い手育成協議会が他の町村にも呼びかけ実施したものです。研修会では、講師の税理士から軽減税率制度のポイントや記帳方法について事例によるわかりやすい説明がありました。普及所では、今後も経営管理技術向上にむけた支援を行います。

イチゴの出荷が始まりました



等級をみんなで確認

12月5日、JA高知県佐川苺部会の現地検討会、目慣らし会が行われ、16戸の農家が参加しました。現地検討会では「ゆめのか」の収穫期に向けた管理のポイントを、目慣らし会では品質と等級を実物のイチゴを用い、それぞれ確認しました。

普及所からは収穫期のGAP、品質管理について説明し、特に異物混入と衛生管理の徹底を呼びかけました。

今後も普及所は栽培技術・品質の向上を支援していきます。